



有機農法用 土壤改良資材

アイオーティ木炭Ⅱ

木炭は、土壤の透水性（保水性）を改善する土壤改良資材として注目されています。また、土壤の通気性・保肥性を改善する効果もあり、根粒菌などの有用微生物の働きを活発化させ、土壤の団粒構造を発達させることにより、植物の発根が著しく良くなります。

◎木炭施用の効果例

以下のような木炭施用の効果が報告されています。

- ・ 水稲への施用で、冷害年に減収をくいとめた。
- ・ トマト、メロン、イチゴへの施用で、糖度が上がった。
- ・ ゴルフ場での芝生への施用で、芝生の緑の時期が長くなった。
- ・ 土壤の保温効果、日射の吸収効果により、地温が上がり、融雪にも効果があった。
- ・ 堆肥への混入により、臭気が大幅に低減され、発酵速度も大幅（2倍程度）に速くなった。

特長

●土壤改良資材として最適

アイオーティ木炭Ⅱは、比表面積 $400\text{ m}^2/\text{g}$ と“多孔質性”に富み、土壤改良資材として最適な木炭です。700～800℃の高温での炭化製法により活性炭に近い特性をもちます。

●富山市エコタウンで製造している国産炭

伐採木やダム流木等から造られた環境に優しい木炭です。“有機農法用”としてご使用いただけます。

●安全で安定した品質

徹底した品質管理により、重金属等の含有量も低く安全性に優れています。また連続製造方式により品質は安定しています。

●木炭粒径は、標準粒と小粒の2種類

標準粒の粒径は2～20mm程度、小粒の粒径は0.5～10mm程度です。



標準粒(サイズ 2～20mm)



小粒(サイズ 0.5～10mm)

仕様

標準粒	木炭粒径：2～20mm程度 製品形状：40L ポリエチレン袋入り (長 70cm × 巾 55cm × 厚 13cm 程度) 重さ：6.5kg 程度
小粒	木炭粒径：0.5～10mm程度(4mm篩品の細長形状) 製品形状：40L ポリエチレン袋入り (長 70cm × 巾 55cm × 厚 13cm 程度) 重さ：7kg 程度

※標準粒、小粒品とも1m³フレコンでもお取り扱いしています。



40リットル ポリ袋入り

アイオーティ木炭Ⅱの物性データ

- ①固定炭素：84～88% ②揮発分：8～10% ③灰分：4～7% ④充填密度(標準粒)：0.15(g/ml-dry)程度
⑤比表面積：400～450m²/g ⑥総発熱量：7,400～7,700kcal/kg

●標準的な施用方法

標準的な施用量を右表に示します。
 なお、一般に土壤改良炭は、地表面に露出すると風雨などにより流出することがあり、また、土壤中に層を形成すると効果が認められないことがありますので、十分に土と混和して下さい。

項目	施用量
育苗	育苗土の容積に対し 10%~20%
定植	根圏土の容積に対し 5%~10%
ハウス栽培	1㎡当たり 1~20 リットル
路地栽培	10a 当たり 500~5,000 リットル
水稻	10a 当たり 500~1,000 リットル
芝生の目土	10a 当たり 1,000~2,000 リットル
ポット、鉢	用土の容積に対し 10%~20%
果樹、植木	埋め戻土の容積に対し 5%~10%
緑地造成	土壌の容積に対し 10%~20%

●当社の土壤改良木炭を用いた小松菜の生育試験

有限会社グリーンガラス・ニッターにお願いし、ミスギ小松菜（サカタ）の生育試験（ビニールハウスにて 10.5 号ポリポットを使用）を実施して頂きました。赤玉土小粒を対照に、当社の土壤改良木炭を 10% 施用し、比較しました。蒔種後、液肥（ハイポネックス）は週 1 回、肥料（IB 化成）は月 1 回施用しました。試験の結果、木炭の施用により、葉の発育および根の張りに高い効果があることが確認されました。特に、根張りは良く、細根の形成も良好でした。なお、この結果は市販木炭に比べても良好でした。



試験の様子



根張りの様子(赤玉土のみ)



根張りの様子(赤玉土に木炭を10%施用)